

緑の募金運動実施要領

1 募金の目的

地球規模で森林の衰退が深刻化する中で、森林や緑は県民共通の財産という認識が深まりつつある。このような背景を受けて、県民の自発的な協力を基本とする緑の募金によって、森林や緑を守り育てる県民参加の森づくりや緑化運動を推進する。

2 募金期間

平成31年2月1日～4月30日

募金集中期間

平成31年2月1日～2月28日

3 募金地域

沖縄県下全域

4 募金の方法

緑の募金は、家庭募金、職場募金、企業募金、街頭募金、学校募金等を実施することとし、市町村緑化支部が行う支部募金と、緑化推進委員会が直接行う直接募金とする。

★街頭募金 任意

★家庭募金 200円以上(目安)

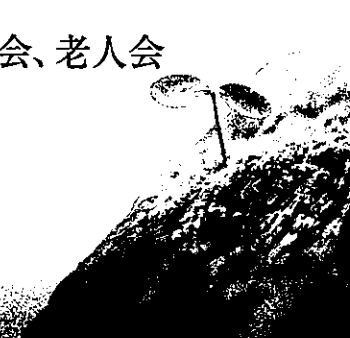
★職場募金 500円以上(目安)

5 募金の目標額

50,000,000円

6 募金の協力者

理事長又は緑化支部長から依頼を受けた自治会、婦人会、老人会の役員等関係者及び市町村職員等とする。



緑の募金運動趣意書

「緑」は、あらゆる生物が生きていくための生命の根源であると同時に、快適な環境を作り出すものとして認識されてきました。一方人間は、自己の生活向上や利便性を追求するなかで都市化を進展させ、緑の自然環境を破壊し減少させてきました。

その結果、地球は今、砂漠化や温暖化の急激な進行、大気・水質の汚染などによって、地球上のすべての生物が生存の危機にさらされているといわれています。

このような背景を受け、2020年以降の国際的な温暖化対策の法的枠組みであるパリ協定が2015年のCOP21で採択されました。

特に、地球温暖化の原因である温室効果ガスの削減が緊急な課題となる中、二酸化炭素の吸収源として森林の重要性はますます高まりをみせています。

沖縄県民は、先の大戦によって県土全体、とりわけ本島中南部の緑が1木1草まで破壊された焦土を目のあたりにして、緑の重要さを改めて認識し、戦後間もなく愛林週間を定め、大々的に緑化運動が推進されました。この運動が幅広い県民の支持を得て善意の運動として発展したのが「みどりの羽根」募金です。

以来この運動に寄せられた県民の浄財は、各市町村の環境緑化に大きく貢献してきました。この運動の趣旨を継承発展させ、より広く国民的な運動として展開するために、1995年6月に「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」が施行されました。この法律に基づく「緑の募金」は県民の善意による緑化運動として大きな役割を担い、森林整備や身近な生活環境の緑化を通して、地球環境への貢献が期待されています。

さらに、新たな振興計画「沖縄21世紀ビジョン」に基づき諸施策を着実に実行し、自立に向けた取り組みが求められている中において、花と緑は本県のリーディング産業である観光資源として重要な役割を果たしており、365日花と緑と香りいっぱいの美ら島づくりを積極的に推進する必要があります。折しも、今年秋期には皇族殿下をお招きして第43回全国育樹祭が開催されます。

どうか県民の皆様におかれましては、県土を守り、水を育み、地球温暖化を防止するなど、多面的な機能を有する森林や緑を守り育て、快適で潤いのある「美ら島おきなわ」を創るとともに、地球社会の一員として国際的な貢献も含め、緑の果たす役割に新たな想像力を高め、緑の募金にご協力くださいますようお願いいたします。

■主催 公益社団法人沖縄県緑化推進委員会・市町村

後援

沖縄県、沖縄県全島緑化県民運動推進会議、内閣府沖縄総合事務局
沖縄森林管理署、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、NHK 沖縄放送局
琉球放送(株)、沖縄テレビ放送(株)、琉球朝日放送(株)、(株)ラジオ沖縄
(株)エフエム沖縄、(株)琉球新報社、(株)沖縄タイムス社

協賛

沖縄県森林組合連合会、(一社)沖縄県森林協会、沖縄県緑化種苗協同組合
(一社)沖縄県造園建設業協会、(一社)沖縄県木材協会、(公財)沖縄県老人クラブ連合会
(一社)沖縄県婦人連合会、沖縄県農業協同組合中央会